

2020年7月3日

## 九州教具グループ ホテルウイング・ポート長崎

### 営業再開のお知らせ

九州教具株式会社（以下当社）運営のホテルウイング・ポート長崎（以下当ホテル）は、本年4月16日以降休館しておりましたが、令和2年7月6日（月）15時より、営業再開することが決定しました。

当ホテルでは、「安全安心を実感できる、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が徹底されたホテルであること」が、お客様に提供すべき最も重要な価値であると考え、以下のコンセプトのもと各種対策・取り組みを実施して参ります。

#### 【ホテルウイング・ポート長崎 コンセプト】

「私たちだからできること たいせつなあなたのために 3つの Keep」

#### 【コンセプトについて】

九州教具グループでは、「新しい生活様式」の確立をビジネスの場で実現することが、私たちの社会貢献と考えています。そのための行動指針が「3つの Keep」です。

- Keep Clean（ウイルスに触れない）
- Keep Distance（ウイルスを広げない）
- Keep Communication（お客様への思いやりを形にする）

当ホテルでは、このコンセプトに基づき、全ての業務フロー及びサービスを見直し、対策を行ってまいります。具体的な対策・取り組みについては添付の資料を参照ください。

私たちは、自動チェックインシステムやオゾンによる消臭除菌といった、コロナ禍以前から当社が持っていたノウハウに加え、新型コロナウイルス感染に当ホテルが直面したことで得られた教訓・ノウハウ、そして常に最新の対策を、オフィスソリューション事業と連携しアップデートしていく体制により、お客様の安全安心を守ることができるホテルであることを目指しています。

#### <九州教具株式会社 会社概要>

本社所在地 〒856-8577 長崎県大村市桜馬場1丁目214-2

連絡先 TEL 0957-53-2177(代表) FAX 0957-53-1068

代表者 代表取締役社長 船橋修一 代表取締役副社長 船橋佐知子

主な事業：オフィスソリューション事業、ホテル事業、ウォーターネット事業

#### <ホテルウイング・ポート長崎>

客室数 200 部屋 〒850-0057 長崎県長崎市大黒町9番2号 TEL：095-833-2800

#### <本件に関するお問い合わせ>

九州教具株式会社 経営管理本部 内村 灯（あかし）

TEL：0957-53-2177 Mobile:080-1714-8245 E-mail：[uchimura@q-bic.co.jp](mailto:uchimura@q-bic.co.jp)

## ホテルウイング・ポート長崎における新型コロナウイルス感染防止対策

### ■営業再開時の取り組み・対策

<b>Keep Clean</b> : ウイルスに触れない	
項目	詳細
1.接客時の飛沫感染防止	フロントカウンターにビニールカーテンやアクリル板を設置。 接客業務時のマスク着用。
2.現金を介したウイルス接触防止	現金取扱時に使い捨ての手袋を着用。
3.館内の衛生環境維持	ロビー・廊下・自販機コーナー・ランドリースペースなどの共有スペースに消毒剤の設置及び定期清拭。 ロビーの配布物や閲覧用新聞を撤去。
4.清掃・除菌の徹底	オゾンによるロビー・客室の除菌作業。 直接手で触れるドアノブ、スイッチ類などの消毒を徹底。

<b>Keep Distance</b> : ウイルスを広げない	
項目	詳細
1.お客様同士の適正距離確保	チェックイン待ちの行列で一定距離を保てるよう、フロントカウンター前にガイドシールを貼付。 ロビーのソファ・テーブルを間引き・撤去。
2.非接触チェックイン・ チェックアウト	自動チェックイン機によりフロントスタッフとお客様の対面・対話を防ぐ。
3.チェックイン時の問診	自動チェックイン時にお客様の体調や渡航歴などを確認し、条件に該当する場合は館内での過ごし方を注意喚起。
4.buffet式朝食の弁当化	buffet式朝食を弁当方式に変更し、朝食会場ではなく各自のお部屋で召し上がっていただく。

<b>Keep Communication</b> : お客様への思いやりを形にする	
項目	詳細
1.予約のお客様へ取り組みを案内	各ホテルのホームページに対策内容を掲載。
2.来館のお客様へ取り組みを案内	自動チェックインの手順をロビーのデジタルサイネージで分かりやすく表示。 啓蒙ポスターを作成し館内各所に掲示。
3.感染者発生時の対応整備	館内から感染者が発生した際にお客様に不安を与えず速やかな対応を行えるようマニュアルの整備・訓練。

### ■今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現取り組み内容のブラッシュアップ</li> <li>・対策の効果チェック、維持管理体制の確立・安全安心をお客様が実感できるよう「見える化」</li> <li>・接触機会を減らしつつも、ホスピタリティを発揮できる新しい接客スタイルの確立 .etc.</li> </ul>
--